

意思決定の脳科学と神経経済学

春野 雅彦

ATR 脳情報研究所 計算神経生物学研究室

Abstract

近年の脳科学では人間やサルが意思決定を行なう際の脳内機構が大きな研究トピックとなっています。そこでは各自の行動で得られるお金や食べ物といった報酬を学習により予測、最大化し、最適行動を取る脳の仕組みが明らかにされ、さらに社会的な状況での意思決定へと研究が進展しています。一方で、行動経済学で扱われる標準的な経済理論で説明しにくい人間行動の脳内メカニズムを求めて神経経済学と呼ばれる分野が大きな関心を集めています。今回の講演では意思決定の脳科学と神経経済学という互いに深い関連を持つ領域について我々の行なった研究も含めて統一的に紹介し、経済学、脳科学、情報科学の新たな学際的コラボレーションの可能性を議論したい。